

井手応援隊通信

平成29年5月28日発行
文責：京都産業大学 3回生
大西ゼミ 橋本泰成

井手応援隊の活動拠点である「むすび家ide」が開所しました！

井手町と京都産業大学は、平成25年8月に連携協力包括協定を締結し、京都産業大学経済学部大西辰彦ゼミを中心に京都産業大学井手応援隊として学生らが活発に井手町の魅力発信イベントなどの取り組みを行っています。

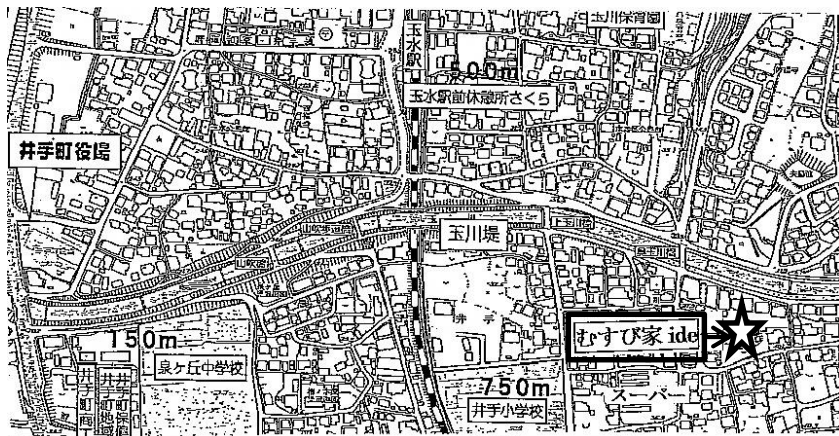
この取り組みをより発展させるために、町内の空き家を改修し、井手応援隊の活動拠点の整備を行いました。

改修は床の張り替えや伐採樹木の処分など、可能な限り学生自らの手で行いました。施設内には、井手町映画「神さまの轍」の展示ブースも設けています。さくらまつりや百縁商店街では、お茶のふるまいやポップコーンの販売等を行い、多くの方に来ていただきました。

＜今後のスケジュール＞

井手町における「学びと交流の場」をコンセプトに、町内小中学校と連携した寺子屋の実施（大学教授による夏休み自由研究サポートや大学生による学習指導）や、地域の方々が交流するコミュニティスペースとして活用を行っていきます。また、大学教授による町民の皆様向けの生涯学習講座も開催予定です。

むすび家ideの場所



平成29年3月には、地域の方々へのお披露目セレモニーを開催しました。



古い畳、伐採樹木の処分、床の張り替え、清掃等は学生自らの手で行いました。

井手応援隊とは…

京都産業大学 経済学部 大西辰彦ゼミの学生を中心に、2013年～2022年の10年間をかけて応援隊活動による若年層の転入増加を目標に活動しています。

町の魅力の一つである玉川を、紙灯籠や竹灯籠で彩り魅力を発信する「井手みね一しょん」のほか、地域のお祭りや町民運動会、清掃活動など地域の様々な活動に参加しています。

